

第 2 4 1 回

町田市都市計画審議会

2 0 2 5 年 8 月 1 3 日

町田市都市づくり部都市政策課

第241回 町田市都市計画審議会 会議録

開催日時：2025年8月13日（水）午後3時00分～午後3時41分

開催場所：市庁舎3階 第1委員会室

出席者：〔1号（学識経験のある者）〕吉川会長、宇於崎委員、市古委員、阿部委員、
草薙委員、松永委員、佐藤委員

〔2号（町田市議会の議員）〕熊沢委員、殿村委員、石川委員、おんじょう委員、
小野委員

〔3号（関係行政機関の職員）〕黒崎委員、江口委員（代理）、鈴木委員

〔4号（町田市の住民）〕浅利委員、新家委員

唐澤幹事（政策経営部長）、深澤幹事（道路部長）、原田幹事（都市づくり部長）、
新幹事（都市づくり部都市整備担当部長）、西澤幹事（下水道部長）

説明員 戸田都市政策課長、市川道路政策課長

案件担当職員 6名

事務局職員 4名

公開又は非公開：公開

傍聴者：1名

議題：【議案審議】

1. 特別用途地区 教育環境整備地区の都市計画変更について（町田市決定）

【報告事項】

1. 「東京における都市計画道路の整備方針（仮称）中間のまとめ」の公表について
（報告）

○事務局 時間となりましたので、第241回町田市都市計画審議会を始めさせていただきます。

まず最初に、事務連絡になります。

会議の進行につきまして、質疑はまずお名前を必ずおっしゃっていただき、会長の指名を受けてから御発言いただきますようお願いいたします。

採決につきましては、まず異議のある方の決を採り、次に異議のない方の決を採って議決するという進め方とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

続きまして注意点になりますが、議事進行中は常時マイクをオフにさせていただき、発言する際にマイクをオンにさせていただきますようお願いいたします。また、御発言後は再びマイクをオフに戻していただきますようお願いいたします。

最後になりますが、本日御審議をいただきます内容は、おおむね1か月後に町田市公式ホームページにて公開させていただく予定となっております。恐れ入りますが、記録用として録音をさせていただきますことを御了解のほど、よろしくお願いいたします。

事務連絡は以上となります。

それでは、都市計画審議会を始めさせていただきます。

初めに、本日の会議の定足数を報告いたします。

現在、委員20名中16名の御出席をいただいておりますので、会議は成立となります。

続きまして本日の傍聴についてですが、傍聴のお申込みをいただいておりますので、これより傍聴人の入室となります。

(傍聴人入室)

○事務局 ここで傍聴者の方にお知らせいたします。

本審議会は、町田市審議会等の会議の公開に関する条例の規定により、公開にて実施しております。

事前にお渡しいたしました用紙「傍聴人の方へ」にも記載してございますが、円滑な議事進行を行いますため、同条例施行規則第3条第4項に定める次の事項をお守りください。

- 1、会議場における発言に対して、拍手その他の方法により公然と賛否を表明しないこと。
- 2、会議場において発言しないこと。
- 3、他の傍聴人の迷惑になるような行為をしないこと。
- 4、会議場において写真撮影、録画、録音等を行わないこと。
- 5、その他、会議場の秩序を乱し会議の支障となる行為をしないこと。

これらのことが守られない場合、退室していただくことがございますので、あらかじめ御

了承ください。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。

本日の案件資料は、前回の都市計画審議会にて使用いたしました表紙がピンク色の資料1「特別用途地区 教育環境整備地区の都市計画変更について（町田市決定）」、また、今回の開催通知に同封させていただきました表紙が黄色の資料1「東京における都市計画道路の整備方針（仮称）中間のまとめ」の公表について（報告）」、以上が本日の資料となります。

不足等ございましたらお知らせください。よろしいでしょうか。

続きまして、本日の議事でございます。

お手元の議事日程のとおり、初めに、特別用途地区 教育環境整備地区の都市計画変更について（町田市決定）の議案審議を行います。その後「東京における都市計画道路の整備方針（仮称）中間のまとめ」の公表についての報告を行います。

それでは、この後の議事については会長、よろしくお願いいたします。

○**会長** それでは、第241回町田市都市計画審議会を開会いたします。

早速日程に入ります。

初めに、議案審議でございます。

特別用途地区 教育環境整備地区の都市計画変更について（町田市決定）でございます。

事務局から説明をお願いいたします。

○**原田幹事** 特別用途地区 教育環境整備地区の都市計画変更について（町田市決定）について御説明いたします。

詳細については担当から説明いたします。

○**戸田都市政策課長** 都市政策課の戸田でございます。

町田都市計画特別用途地区 教育環境整備地区の都市計画変更について御説明いたします。

本日の資料は、先ほども御確認いただきましたが、前回の都市計画審議会にて配付しましたピンク色の表紙、資料1を使用させていただきます。

本案件は、新たな学校づくりの計画が進む5校について、現行の用途地域の規制の一部緩和を行うものです。

緩和するに当たり、都市計画法の手続とは別に、建築基準法の手続に基づき国土交通大臣承認を得た建築条例を定める必要がございます。この手続きを国の定める手順に沿って進めておりまして、5月に国土交通大臣の承認をいただいたことから、6月に町田市議会定例会にて議決をいただきました。これに基づき都市計画手続きを進めるものでございます。

それでは、本編に入ります。

初めに、都市計画変更案の理由書について御説明いたします。

資料1の1ページを御覧ください。

前方のスクリーンには同じものをお示ししております。

公共公益施設の再編に当たっては、「町田市都市づくりのマスタープラン」において、周辺住宅地への影響に十分配慮しながら必要に応じて地区計画を併用した用途地域の変更、または特別用途地区の指定や高さの規制緩和について検討するとしています。

さらに用途地域等の指定方針・指定基準である「町田市土地利用に関する基本方針及び制度活用の方策」においても、学校施設等の再編に伴い、特定の建築物の用途等を規制緩和及び規制強化することが必要な区域について特別用途地区を指定することを示しております。

2021年に策定した「町田市新たな学校づくり推進計画」では、学校の機能別に室数、面積、配置等の新たな学校づくりに求める機能をまとめるとともに、地域開放、複合化への対応等に関する整備方針を示しています。この中で、地区別の具体的な計画である「新たな学校づくり基本計画・建設基本計画」を策定した鶴川東地区小学校、本町田地区小学校、南成瀬地区小学校、鶴川西地区小学校及び南第一小学校地区の計5校は、より多くの方々に文化やスポーツ等の活動の場、例えば集会場やスポーツ練習場として活用してもらえる施設環境を整えることで、地域の方にも愛着を持ってもらえるような開かれた学校を目指すため、特定の建築物の用途を規制緩和することが必要な地区となっております。

これらを踏まえ、5校の計画の具体化に合わせ、学校施設の有効活用やほかの機能との複合化・多機能化により、学習環境の向上のほか多様な人々が交流し、活動する場を創出し、愛着ある地域拠点施設を整備するため、市内の約9.0ヘクタールの区域において教育環境整備地区を新たに指定いたします。

次に、各地区の位置について御説明いたします。

資料1、2ページから6ページについて御説明いたします。

初めに、鶴川東地区統合小学校についてです。

位置は小田急線鶴川駅から北に1.2キロメートル、現鶴川第二小学校の用地になります。こちらは第三種教育環境整備地区の指定を行います。

次に、本町田ひなた小学校についてです。

位置は小田急線玉川学園前駅から西に2.4キロメートル、現本町田東小学校の用地になります。こちらは第四種教育環境整備地区の指定を行います。

次に、成瀬小学校についてです。

位置はＪＲ成瀬駅から北東に約１キロメートル、現南第二小学校の用地になります。こちらは第四種教育環境整備地区の指定を行います。

次に、鶴川西地区統合小学校についてです。

位置は小田急線鶴川駅から北西に約2.2キロメートル、現鶴川第四小学校の用地になります。こちらは第四種教育環境整備地区の指定を行います。

最後に、南第一小学校についてです。

位置は田園都市線南町田グランベリーパーク駅から北に約1.4キロメートル、こちらは第四種教育環境整備地区の指定を行います。

次に、計画書について御説明いたします。

資料１の７ページを御覧ください。

教育環境整備地区では、中学校の給食機能を集約した中学校給食センターのうち町田忠生小山エリア給食センターを第一種教育環境整備地区、南エリア給食センターを第二種教育環境整備地区に指定しております。今回、新たな学校づくりの計画が進む５校の整備に向けて、第三種教育環境整備地区を約2.2ヘクタール、第四種教育環境整備地区を約6.8ヘクタール、教育環境整備地区を追加することに伴う都市計画変更となります。

次に、各地区の計画図について御説明いたします。

資料１の８ページから12ページにかけて順に御説明いたします。

まず、資料８ページです。

現況の鶴川第二小学校と一致した境界と定めた区域、約2.2ヘクタールを第三種教育環境整備地区と指定いたします。位置は町田市能ヶ谷七丁目地内になります。

続きまして、資料９ページです。

現況の本町田東小学校と一致した境界と定めた区域、約1.7ヘクタールを第四種教育環境整備地区と指定します。位置は町田市本町田字乙八号地内になります。

続きまして、資料10ページです。

現況の南第二小学校と一致した境界と定めた区域、約1.7ヘクタールを第四種教育環境整備地区と指定いたします。位置は成瀬七丁目地内になります。

続きまして、資料11ページです。

現況の鶴川第四小学校と一致した境界と定めた区域、約2.0ヘクタールを第四種教育環境整備地区と定めます。位置は鶴川三丁目地内になります。

最後に、資料12ページです。

現況の南第一小学校と一致した境界として定めた区域、約1.4ヘクタールを第四種教育環境整備地区と指定します。位置は南町田一丁目地内になります。

次からは参考として、第三種及び第四種教育環境整備地区について、町田市教育環境整備地区建築条例で定める建築の制限及び緩和の内容を御説明いたします。

資料1の14ページから17ページ、右上に「参考資料」と記載がありますが、「町田市教育環境整備地区建築条例」を御覧ください。

まず、第5条に、教育環境整備地区内の建築等の緩和について記載されています。

具体的な建築物の用途につきましては、16ページ中段から17ページに記載しております別表を御覧ください。

新たな学校の活用方法として、地域住民の交流や活動拠点について特別教室や体育館、武道場などの空き時間、空き教室を利用することが、建物用途としては集会場やスポーツ練習場に該当いたしますが、5校の学校用地は第一種低層住居専用地域及び第一種中高層住居専用地域であり、これらを建てることができないため、緩和するものです。

また、周辺地域の住環境を保護するため、規制強化の内容を定めております。第8条、壁面の位置の制限では、建築物から敷地境界線までの距離を4メートル以上とし、さらに第9条、建築物の高さの最高限度では、第四種教育環境整備地区については、現状では「31メートル」の高さ制限があるところを「25メートル」までとしております。

最後に、スケジュールの予定について御説明いたします。

資料1の13ページの右下に記載があります4、スケジュール（予定）を御覧ください。

都市計画法第19条の規定に基づく東京都協議を行い、「意見なし」との回答をいただいております。また、7月18日から8月1日までの2週間、都市計画法第17条の規定に基づく都市計画案の縦覧を行ったところ、意見書の提出はございませんでした。

本日の議案審議の後、2025年9月頃の都市計画変更告示を予定しております。

説明は以上となります。御審議のほどよろしく願いいたします。

○会長 御説明ありがとうございました。

ただいまの説明に関して御質問、御発言ございませんでしょうか。

よろしゅうございますか。

では、前回の事前審議でいただいた御意見がございました。これに関して、事務局から何か補足的な説明はございますか。

○戸田都市政策課長 前回の事前審議の際にいただいた御意見について、補足させていただきます。

前回、防災についてどのように考えるかということと、審議スケジュールの考え方について御意見をいただきました。

まず、防災についてでございますが、新たな学校づくりを進めていくに当たっては「市民生活の拠点づくり」という基本理念に基づき、地域の防災拠点としても災害時の対応を円滑に行う環境を整備することを目指しております。いただきました御意見は、所管する教育委員会、防災安全部とも共有しております。しっかりと受け止めさせていただき、今後の取組の中でしっかり検討を進めてまいります。

もう一つ、審議の進め方についてでございますが、本件は複数の手続が並行して進むものであり、ほかの案件と比べて少し複雑であったことから、事前審議、また議案審議の前に2025年1月の第238回都市計画審議会にて、報告として全体の概要と審議スケジュールを御説明させていただきましたが、都市計画変更手続、条例改正手続、また国等関係期間手続の関係性についてもう少し丁寧に御説明を差し上げることが必要だったと改めて思っております。

今後も、今回のケースのような少し複雑な手続を要する案件につきましては、同じように事前審議の前に報告の場を設けさせていただきたいと思っておりますが、その際は案件の概要、全体のスケジュール、手続の流れや、この都市計画審議会にて調査、審議していただく事項について委員の皆様にとしっかりと御理解をいただけるように、より丁寧に御説明を差し上げたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○会長 ありがとうございます。

ただいまの事務局からの補足説明について、何か追加で御質問、御発言等ございますでしょうか。

○小野委員 1ページの下から10行目に「文化やスポーツ等の活動の場（例：集会場）……」となっていて、ここには書いていないけれども、先ほどの説明も踏まえると、集会場のほかにスポーツ練習場も含まれているというのは分かるわけですが、今、防災の話があって、検討するといった話があったかと思うんですけれども、現時点でこの中に避難所は入っ

ているのか、入っていないのかというところを教えてくださいんだけれども。ここに入れることをこれから検討するのか、もう既に例示の中に避難所は含まれているという理解でいいのか、そのあたりを教えてください。

○戸田都市政策課長 避難所であるとか防災に資するような施設の在り方については、今後しっかりと、新たな学校の再編を進めていく中で検討を進めてまいります。今回の都市計画の緩和をする案件としては、例えば集会場とスポーツ練習場の部分を緩和するということがございます。

○会長 よろしゅうございますか。

○小野委員 はい。

○会長 ほかに御質問、御発言ございませんでしょうか。補足説明以外のところも含めて、よろしゅうございますか。

では、質疑応答は以上とさせていただいて、採決に移りたいと思います。

ただいまありましたこの議案につきまして、原案のとおりお認めすることに御異議はございませんでしょうか。

(異議ありの表明)

○会長 殿村委員の手が挙がりましてので、殿村委員から御発言をお願いします。

○殿村委員 特別用途地区 教育環境整備地区の都市計画の変更について（町田市決定）について、異議がありますので、意見を述べます。

まず、本議案における都市計画の変更の対象が「町田市新たな学校づくり推進計画」による第1期の学校統合や建替えを行う5校であるということです。学校統廃合計画については、対象となる地域の住民や市民から議会や教育委員会に請願が出され、学校の存続や計画の見直しを求める声があります。

都市計画法第1条では、同法の目的について「公共の福祉の増進のため」と定めています。地域の要となる都市施設である学校の在り方について住民や市民の十分な理解と合意がないまま、行政が立てた計画を推進するために必要な都市計画の変更に合理性はないと考えます。

また、今回の都市計画の変更によって従来の学校施設では造ることができない集会場やスポーツ施設を建設できるようにする地域活用型学校は、学校統廃合を前提にして地域の在り方を改変するもので、いまだ住民や市民の理解と合意は得られていないと考えます。

以上、本議案のような学校統廃合計画に基づく都市計画の変更は、子どもたちや市民に寄り添った良好なまちづくりにならないと考えます。

以上です。

○会長 ありがとうございました。

ただいまの御発言に関して、何か補足的に御意見表明ございますでしょうか。

事務局から何かございますか。よろしゅうございますか。

○戸田都市政策課長 いえ。

○会長 ほかに、本件の採択について異議をお申出になる委員はいらっしゃいますか。

オンラインは大丈夫ですね。

○事務局 大丈夫です。

○会長 では、意見をお伺いいたしました。

異議がございましたので、町田市都市計画審議会条例第6条第4項「審議会の議事は、出席した委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。」の規定に基づき、これより採決を行いたいと思います。

では、名簿の順番にお名前をお呼びいたしますので、本案について賛成または反対で答えいただきますようお願いいたします。

では、順番にお伺いいたします。

1番は私なので、2番の宇於崎委員。

○宇於崎委員 賛成です。

○会長 薬袋委員。

○事務局 欠席です。

○会長 市古委員。

○市古委員 賛成いたします。

○会長 阿部委員。

○阿部委員 賛成です。

○会長 中西委員。

○事務局 欠席です。

○会長 草薙委員。

○草薙委員 賛成です。

○会長 松永委員。

○松永委員 賛成します。

○会長 続いて、佐藤委員。

- 佐藤委員 賛成します。
- 会長 続いて、澤井委員。
- 事務局 欠席です。
- 会長 続いて、熊沢委員。
- 熊沢委員 賛成です。
- 会長 殿村委員。
- 殿村委員 反対です。
- 会長 続いて、石川委員。
- 石川委員 賛成です。
- 会長 続いて、おんじょう委員。
- おんじょう委員 賛成です。
- 会長 続いて、小野委員。
- 小野委員 賛成です。
- 会長 続きまして、黒崎委員。
- 黒崎委員 賛成です。
- 会長 続きまして、江口委員。
- 事務局 今日は代理で名地課長が出席されています。
- 江口委員（代理：名地） 賛成です。
- 会長 続きまして、鈴木委員。
- 鈴木委員 賛成です。
- 会長 続きまして、浅利委員。
- 浅利委員 賛成です。
- 会長 続きまして、新家委員。
- 新家委員 賛成です。
- 会長 ありがとうございます。御欠席の方を除いた全ての委員から賛成あるいは反対の意思表示がなされました。

以上をもちまして、賛成多数と認めます。

よって、本案は原案のとおり決定いたしました。

本件については以上とさせていただきます。

続きまして、報告事項に入ります。

「東京における都市計画道路の整備方針（仮称）中間のまとめ」の公表についてでございます。

事務局から御説明をお願いいたします。

○深澤幹事 「東京における都市計画道路の整備方針（仮称）中間のまとめ」の公表について、御報告させていただきます。

説明は担当からお願いいたします。

○市川道路政策課長 道路政策課の市川でございます。

「東京における都市計画道路の整備方針（仮称）中間のまとめ」の公表について御報告いたします。

この中間のまとめは東京都、特別区及び26市2町が協働で取りまとめを行いまして、2025年7月29日に公表したものでございます。本日は、概要について御説明いたします。

初めに、背景や現状等について御説明いたします。

資料の1ページ目を御覧ください。

都市計画道路につきましては、計画的かつ効率的に整備を進めるため、おおむね10年間で優先的に整備すべき路線を定めました「都市計画道路の整備方針（事業化計画）」を過去4回にわたり策定いたしまして、事業の推進に努めてまいりました。

現行の整備方針の計画期間が2025年度までとなっておりますので、現在、新たな計画の策定に向けた調査・検討を進めているところでございます。

計画の策定に当たりまして、都市計画道路が果たすべき役割、整備の方向性を示しました中間のまとめを公表しまして、現在、パブリックコメントによる御意見、御提案の募集を行っているところでございます。

いただきました御意見、御提案も参考にしながら、2025年度中に新たな整備方針の策定を予定しております。

次に、資料の2ページ目を御覧ください。

東京の都市計画道路の現状について記載しております。

東京の都市計画道路の延長は約3,200キロメートルでございます。1980年からの約半世紀で約900キロメートルが整備されておまして、全延長の65%が完成してございます。

都市計画道路の整備を通じて渋滞の緩和ですとか緊急輸送道路の機能強化、安全な歩行者空間の確保、市街地の活性化など、幅広い整備効果が発現しております。一方で、事業期間が長期化していることや長期未着手路線が残っているといった現状もございます。

次に、道路整備の基本理念及び基本目標についてでございますが、東京を取り巻く社会情勢の変化、それから東京の道路を取り巻く課題、上位計画における東京の将来像を踏まえた形で設定しております。

基本理念といたしましては「都市計画道路ネットワークを形成・充実し、次世代を見据えた円滑な自動車交通と良質な歩行者空間が共存した都市を実現」としております。また、基本目標につきましては、スライドに示しております「都市の強靱化」「人やモノの自由な移動」「安全で快適な道路空間の創出」「都市環境の向上」の4つを掲げてございます。

次に、資料の3ページ目にございます、整備方針に定める基本的事項及び策定手順についてでございます。

まず、本方針の計画期間でございますが、事業の長期化などを考慮いたしまして、15年間で定めております。

また、基本理念と基本目標の実現に向けまして、都市計画道路の必要性の検証、優先整備路線の選定、道路空間のリメイクの検討に取り組んでまいります。詳細については、この後、御説明させていただきます。

なお、社会情勢の変化等に対応するため、計画期間内の中間年次において必要な検証も行ってまいります。

都市計画道路の必要性の検証についてでございますが、未着手の都市計画道路を対象に、ネットワークとしての必要性を検証いたします。検証に当たっては、4つの基本目標を基に10の検証項目を設定いたしました。検証項目につきましては、1から5までについては都全体に関わる項目として、都内一律の考え方で東京都が検証し、検証項目6から10につきましては地域に関わる項目として、地域の実情を踏まえて各区市町が検証してまいります。

次に、優先整備路線の選定についてですが、必要性が高い路線を対象に、今後15年間で優先的に整備すべき路線を選定するため6つの選定項目を設定いたしまして、整備効果などを考慮しながら選定してまいります。

続いて、道路空間のリメイクの検討について説明いたします。

道路空間のリメイクとは、道路ネットワークの形成が進んでいる地域におきまして、回遊性や滞在の快適性などの多様化するニーズ等に応じ、道路空間の幅員構成を見直すことで、ゆとりや賑わいなどの新たな付加価値を生み出す取組でございます。完成済みの都市計画道路などを対象としまして、広域的・地域的な視点でリメイク候補路線を検討してまいります。

資料の4ページ目を御覧ください。

今後の進め方についてでございます。

現在公表しております中間まとめにつきましては、8月29日まで、都民の皆様から御意見、御提案の募集を行っております。いただきました御意見などを踏まえまして、東京都、特別区、26市2町で構成される策定検討会議、学識経験者で構成いたします専門アドバイザー委員会などの検討を進めまして、2025年度中に新たな「東京における都市計画道路の整備方針」を策定してまいります。

説明は以上でございます。

○会長 説明ありがとうございました。

ただいまの報告事項の説明に関して、御質問、御発言などございませんでしょうか。

○市古委員 都立大学の市古です。

ちょっと質問ですけれども、3ページ目の都市計画道路の必要性の検証で、御説明もあったんですけれども、「各区市町で検証します」という表現に関して、どのような検証をされたのか、する予定なのか、ちょっと御教示いただければありがたいと思います。

○市川道路政策課長 検証項目ということで、地域に関わる項目が6から10までございまして、例えば「あらゆる災害に対する地域の防災力向上」ですと浸水するエリアからの避難ルートとなる街路を評価するなど、地域ならではの項目等をここで検証していく、イメージになっております。この6番目から10番目について各区市町のほうで検証してまいります。

○市古委員 そうしますと、これから何か検証作業を行うという理解でよろしいですか。

○市川道路政策課長 今後、この検証を進めていく形になります。

○市古委員 承知しました。ありがとうございます。

○会長 ほかに御質問、御発言ございませんでしょうか。

○宇於崎委員 東京都の整備方針なので、いいのかなと思いますが、特に町田は隣接する神奈川県とか川崎市との調整も必要だと思います。その辺はどのように考えておられるんですか。

○市川道路政策課長 町田市の場合、相模原市や川崎市、横浜市と隣接しております。町田市としては、地域の魅力向上やネットワークの形成という点で調整が必要な路線があると考えています。そのため、地域の項目として町田市としてもピックアップしてまいりますし、路線によっては東京都のほうで広域的なネットワークとして「骨格幹線道路網の形成」の項目で抽出される路線もあろうかと思っています。

○宇於崎委員 ありがとうございます。

○会長 ほかに御発言、御質問は。

○殿村委員 東京を取り巻く社会情勢の変化の中に、例えば気候危機の深刻化といった変化が取り上げられていると思います。そして、この必要性の検証項目の中にも7番で「つながり・まとまる緑豊かな空間の創出」と。関係性はよく分かりませんが、私の問題意識としては、都市計画道路が既に指定されている範囲内に、法的に担保されているまとまった緑地があるんですね。そういうところについて検証の対象になるのかどうかお聞きしたいと思います。

○市川道路政策課長 この項目で挙げてございます「つながり・まとまる緑豊かな空間の創出」につきましては、公園と公園を結んで移動を円滑にする街路などを評価する検証項目が想定されており、都市計画道路の計画範囲に一部緑が当たるといった内容を想定した検証項目ではございません。

○殿村委員 この社会情勢の変化というところの問題提起からすれば、もっと環境問題について、世界的に非常に重要な課題になっている中で、やはり検討すべきではないのかなということ意見を申し上げたいと思います。

○会長 ただいまの意見表明について、事務局から何か補足はありますか。

○市川道路政策課長 いえ。

○会長 ほかに御質問、御発言ございませんでしょうか。よろしゅうございますか。

オンラインも大丈夫ですね。

○事務局 大丈夫です。

○会長 では、本件については報告でございますので、以上で質疑応答を終了させていただきたいと思います。

本日用意された議案及び報告事項は、以上でございます。

では、事務局から事務連絡等ございますでしょうか。

○事務局 事務局からの事務連絡になります。

次回の定例会の日程についてでございますが、次回10月の定例会は、10月2日木曜日、午後3時からの開催となりますので、よろしくお願いいたします。

事務局からは、以上です。

○会長 ありがとうございました。

以上をもちまして、本日の都市計画審議会の議事等は全て終了でございます。

本日は御多忙の中お時間を割いていただき、誠にありがとうございました。また、本件議案及び報告事項について非常に真摯な御議論をいただき、恐らく事務局においても大いに参

考にすべきことがいろいろあったと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

では、次回10月にまたお会いしたいと思います。

本日はこれにて閉会いたします。ありがとうございました。